



ひとりの声を大切に！

高山豊彦(とよさん通信)

第2号

TEL/FAX : 78-2935 • E-mail : wjmbr334@yahoo.co.jp

2019年 夏号

令和元年6月 定例議会報告



私自身、初めての定例議会にあたり、これまで皆様からお聞きした災害等による避難時の課題や高齢者等の移動手段、また、高齢者等のごみ収集問題について一般質問しました。

Q

- ① 防災計画のハザードマップで危険と想定される戸数と今後の対策は。
- ② 指定避難所の選定基準と収容可能人数は。
- ③ 今後のインフラ整備等の考えは。
- ④ 白栖撰原線の道路整備が必要では。
- ⑤ 一時避難所として、各集会所や公民館を活用しては。
- ⑥ 今後の交通政策について町の考えは。
- ⑦ 奈良交通の路線から離れた地域の移動手段についての考えは。
- ⑧ 外出支援サービスの対象者の緩和を。
- ⑨ 和東井出線等の自転車や観光客への交通マナーの啓発と、高橋バス停の観光バスに係る安全確保及び交差点改良や道路改修が必要では。
- ⑩ ごみ収集所の設置基準は。
- ⑪ 高齢者等のごみ出しについての考えは。

A

- ① 土砂災害972戸2,972人、浸水災害342戸913人、地震は町内全戸数を想定、住民の安全で安心な体制強化に努める。
- ② 耐火・準耐火構造で、2階建て以上の危険性の少ない公共施設で、収容人数は体験交流センター687人、和束保育園485人、社会福祉センター384人、人権ふれあいセンター236人、B&G海洋センター858人、白栖公民館151人、湯船中五の瀬集会所44人、和束小学校体育館560人、和束中学校体育館550人。
- ③ 定期的な点検を行い、不的確となった施設は、補助事業、交付金事業を活用し、修繕を計画している。
- ④ 補助事業等も検討し、今後、計画を立てていきたい。
- ⑤ 災害の状況を踏まえ地域の協力を求めている。
- ⑥ 奈良交通の路線維持を中心とした公共交通対策を関係機関に働きかけていきたい。
- ⑦ 和束町に合致した交通の在り方を引き続き検討していきたい。
- ⑧ 現在の認可事業以外の方法を路線協議会などで確立しないといけない。
- ⑨ ホームページや啓発看板などで注意喚起を行っており、今後、駐車場等の整備や啓発活動等を進めていきたい。また、交差点改良や道路改修については財源の確保等、努力していきたい。
- ⑩ ごみ収集は相楽東部広域連合の条例に基づき実施している、区から収集所の設置要望があれば、相楽東部広域連合と協議し検討したい。
- ⑪ 福祉施策など総合的な判断が必要。

主な一般質問

西和東地域の指定避難所である白栖公民館への避難ルートの道路整備等について質問しました。



今後の交通政策や、外出支援サービスの対象とならない高齢者等の移動手段の確保について質問しました。



自転車（ロードバイク）や観光客への交通マナーの啓発と観光バスによる安全対策等について質問しました。



常任委員会で質問しました



☆ 今年に入って町内で大きな住宅火災等が発生し、消防施設は十分機能しているのか住民が不安を感じている。

答：管路の大きさにより消火栓の設置数が異なるが、数の少ない箇所や消火栓が近くにない場所については、近くの川や防火用水を活用するなど、状況に応じ対応している。

☆ 奈良交通への補助対象となる便数は

答：現在1日12.9便の内、6便について補助対象となっている。

☆ 東部広域連合で運行している便の利用状況は？

答：現在利用者数は少数で、今後、運行ルートも検討すべきと考えている。

6月議会で決まったこと

道路災害復旧工事請負契約決まる

昨年の西日本豪雨による、地すべりが起因として発生した、白栖別所線の道路滑落箇所（左記写真箇所）の復旧工事費用として、6,291万円が予算計上されました。

